

## 現在の渇水対策

現在、佐世保市では、従来の水運用に加えて気象情報や水運用のデータを基に、数ヶ月先のダム貯水量を予測する『貯水量予測システム』を導入した、常に渇水に備えた水運用を行なっています。

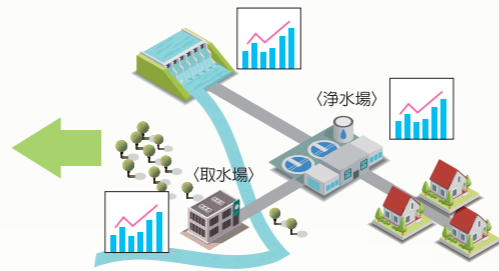
気象協会からのデータに基づいた効率的な水運用を図るとともに、過去の渇水を教訓に、できるだけ早期に渇水の兆候を捉え、早い段階から節水広報等を行うことでダム貯水の低下を抑え、給水制限の実施を遅らせる等の渇水対策に役立てています。



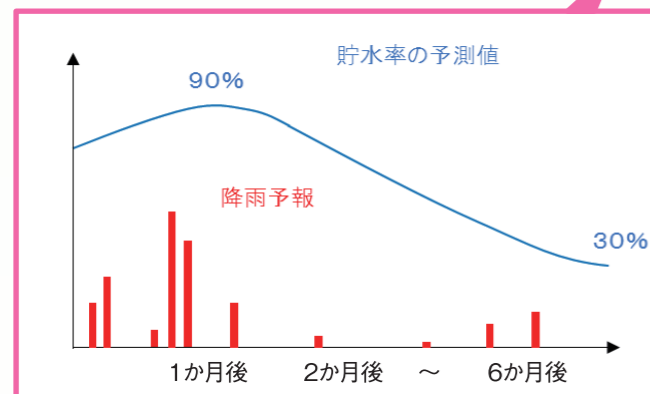
気象協会からの気象情報



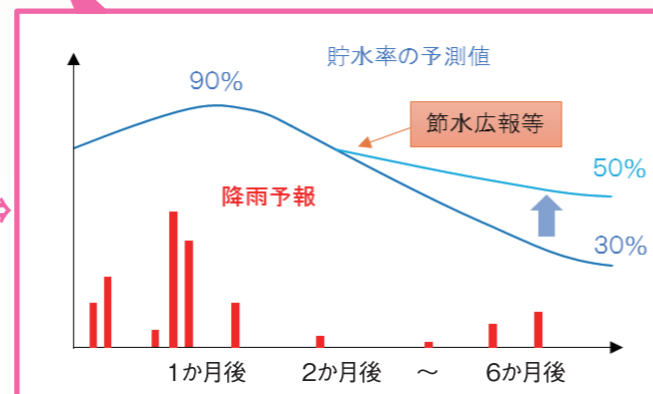
貯水量予測システム



日々の水運用のデータ



1 給水制限を行う必要があるくらいダムの貯水率の低下が予測されたときは…



2 貯水率が低下する前に、節水広報等の渇水対策を講じることで、ダム貯水の低下を緩やかにする。



節水は  
大変だけど、断水に  
なるよりイイよね!

幸いにも、この10年間は給水制限を実施するような渇水に見舞われることはありませんでしたが、近年は異常気象の進行によって、年間の降水量は年々減少傾向にあり、いつ大きな渇水に見舞われるのか分からない状況にあります。

水道局では、皆さまが安心して生活できるよう、様々な努力を続けて参りたいと思いますが、一方で、渇水対策は、市民の皆さまのご協力なしには効果をあげることができませんので、今後も、皆さまのご理解とご協力を、よろしくお願いいたします。



# 水道局だより

No. 22  
平成30年  
3月



2008年3月 広報車による節水呼びかけ

今からちょうど10年前の平成20年3月は、佐世保市が少雨によって160日間実施された給水制限が解除されたときです。

「災害はいつ起こるか分からない」とは言え、10年前の出来事ですので、記憶が薄れている方や経験されていない方も多いと思います。

そこで今回は、10年の節目で皆さまの防災・減災意識を喚起していただくために、当時の様子や佐世保市の水運用の仕組み等についてご紹介いたします。



### 目次

- 1 10年前の給水制限
- 2 佐世保の水運用
- 3 現在の渇水対策

お問い合わせは ▶ 佐世保市水道局 ☎0956-24-1151 (代表)

水道局URL ▶ <http://www.city.sasebo.lg.jp/suidokyoku/index.html>

佐世保市水道局

検索





# 10年前の給水制限

前回の給水制限は、平成19年11月23日から平成20年3月26日(小佐々地区は4月30日)まで、減圧給水制限が160日間実施されました。

この年は7月後半から雨が少なくなり、ダム貯水率が急速に低下したことから、水道管の水圧を下げて、蛇口からの水の出を弱くする『減圧給水制限』を実施しました。

11月末には、貯水率が54%となったため、時間帯によって水道を止める『時間給水制限(断水)』の実施を決定し、その案内を配布しましたが、実施直前の12月初旬にまとまった雨が降ったため、断水までにはいたらず、何とか乗り切ることができました。まさに天の恵みとなる雨でした。



### 給水制限の種類

**通常時**

断水にならなくてホントによかったわ。

**減圧給水制限**

水圧を低くして給水しますので、水の出が弱くなります。節水効果を高めるための制限方法です。

**時間給水制限(断水)**

断水時間中は、蛇口を回しても一切水が出ません。渇水時の最終手段となる制限方法で、佐世保市では平成7年に実施しています。

当時のチラシ

## 給水制限のお知らせ

### 12月15日(土)から、時間給水を開始します

地区	日	時間	給水状況
A地区	12月15日(土)	0:00~14:00	水が出ない
	12月16日(日)	14:00~24:00	水が出ない
	12月17日(月)	0:00~10:00	水が出ない
B地区	12月15日(土)	減圧状態で通常どおり給水	
	12月16日(日)	0:00~10:00	水が出ない
	12月17日(月)	14:00~24:00	水が出ない

※18日(火)以降、①と②を繰り返して給水します

12月29日(土)~1月3日(木)は凍結による24時間給水を実施する予定です。

A地区・B地区は個別にお知らせします

新聞の朝刊に折り込んだチラシ(平成19年12月9日)。佐世保市内を2地区に分けて、それぞれ1日おきに給水(24時間断水)を予定していました。

ホントに危機一髪だったんだよ。

佐世保市渇水対策本部  
電話 24-7752  
または 25-9692  
受付時間 8時30分~22時00分(毎日)

# 佐世保の水運用

佐世保市では、主に『ダムに貯めた水』と『直接河川から取った水』の二つを主な水道水源としています。昔から水源に乏しく渇水を繰り返してきましたので、普段は、河川の水を最大限に利用して、できるだけダムの水を温存する『ダム温存型』の水運用をしています。

**普段は**

河川から最大限水を取って…

足りない分だけをダムから取水。

♪

**最大限取水**

↑ 温存 ↓

ダム温存!

しかし、雨が少なくなってくると、河川に流れている水の量が減ってきます。特に佐世保市は斜面が多く平野が少ないため、河川が急勾配で流れが速く、河川に水が留まる時間が短いことから、雨が少なくなってくるとたちまち河川からの取水が難しくなります。河川からの取水が少なくなってくると、ダムから多くの水を取水する必要が出てきます。そうすると、佐世保市は他都市に比べて小さなダムしかありませんので、一気に貯水率が低下していきます。

**雨が少ないと**

河川の流れる水が減ると…

ダムから多く取水しなければならない。

💧

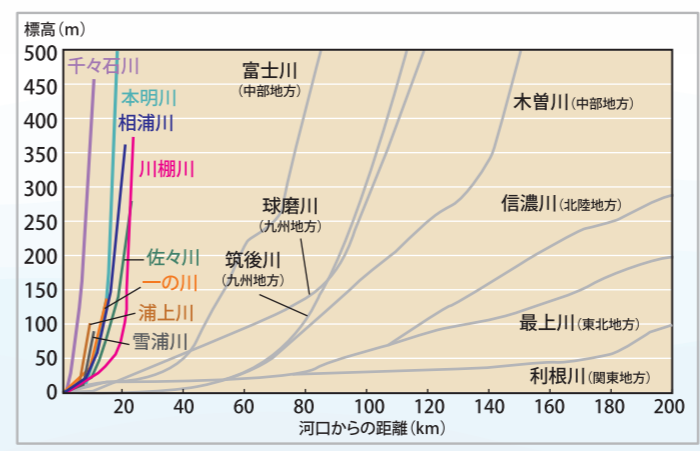
↓ 取水量が減少 ↑

↓ 取水量が減少 ↑

ダムからの取水増

温存できない!

### 長崎県の河川の特徴



横軸が河口から上流までの距離、縦軸が高さを表しています。長崎県内の河川は総じて距離が短く急勾配な地形をしているため、山に降った雨は、ほとんどが地中に浸み込むことなく、表面を伝って急速に海に流れ出てしまいます。そのため、雨が降っても数日後には、河川は元の水が少ない状態に戻ります。

### 【佐世保市の弱点】

- ①地形上の問題から、流れが速く水が留まりにくい小さな河川しかない。
- ②小さなダムしかないため、貯水率の減少が早い。

だから、佐世保市は水源不足で困っているのね。